

# Brush Up Letter

2020年3月  
Vol.30

D&Nplus ブラッシュアップセンターは、妊娠期から職場復帰、子育て期・介護期の医療職者をサポートします



## Contents

- みなと KOBE メディカルキャリアプロジェクト 第4回講演会
- Dr. キャリアカフェ 第1回 多職種ランチフォーラム
- 令和2年度復帰予定者 看護師復帰前研修
- みなと KOBE メディカルキャリアプロジェクト 講演会のお知らせ
- ホームページリニューアルのお知らせ
- マタニティ白衣等 無料レンタルのお知らせ

## みなと KOBE メディカルキャリアプロジェクト (旧神戸大学女性医師の会) 第4回講演会



日時 12月21日(土) 14:00-17:00

会場 第2会議室

クリスマスムード漂う中、第4回講演会が開催されました。会長の尾藤祐子先生(小児外科)の開会挨拶で幕を開け、講演会・ワールドカフェ・コンサート・懇親会と続く和やかな一日となりました。以下、当日の内容の一部をご紹介します。



### 講演 医師の結婚とワークライフバランス

#### 講師 薬師寺 忠幸 先生

昭和大学 循環器内科 兼任講師  
(株)ドクターズインク 代表取締役



### ～医師として～

人生のテーマは明るく楽しく人助けをする。2年間のNY留学が転機となり、大学の常勤を卒業して医師としては週2～3回の勤務とし、平日は子供と手をつないで登園・降園するのが日課となった。一方で、女性医師向けの婚活「女医コン」、学会を活性化するインタラクティブシステム「百人会議」を始めた。これまでは医師は医師だけやっていればよかった。時代は変わり、最近では医師プラスαを求められているのではないかと。医師免許は病院の外でも活用できる！

### ～女性医師の結婚について～

医師の50歳時点での未婚率は、男性3%、女性36%と言われる。年齢とともに仕事は増え、機会は減り、出会いの場に出ていく勇気がなくなる。いわゆる結婚適齢期にキャリア形成の大事な時期が被っていることが主因だろう。結婚したいのであれば相手を医師に限定することなく、間口を広げて探して欲しい。運命の相手は院外にいる！結婚相手が非医療職で、家庭も職場も充実している女医の数は少ない。家庭を持って初めて分かることもあり、育児を通じて人間的成長がある。

### ～若い方へのメッセージ～

医師は多くのチャンスが得られるが、自分のみの利益を追求せず、社会に貢献できる人になってほしい。人生に無駄はないので「自分が死んだときに思い出してもらえ」面白い人生を送れるよう色々なことにトライしよう。まずは自分自身の充実、そして家族や友人に幸せをもたらし、さらに社会全体の幸福につなげよう。日頃から「ありがとう」の言葉や感謝の気持ちを持ち続けよう。

## ワールドカフェ



塩見優紀先生(消化器内科)の進行により、まずは「嬉しかったこと」を交えた自己紹介が行われました。続いてワークライフバランスやキャリア形成等について率直な意見を出し合うなど、他者の想いを共有し新たな発見につながる有意義な時間となりました。

※ワールドカフェとは参加者がオープンに会話する「話し合いの手法」のひとつ

## コンサート

神戸大学医学部クラシック音楽愛好会による生演奏が披露されました。懸命に練習を重ねた素晴らしい演奏に会場からは感動の歓声と大きな拍手が贈られました。



## Dr. キャリアカフェ 第1回 多職種ランチフォーラム

日時 2月13日(木) 12:00-13:00

会場 共通カンファレンスルーム

Dr. キャリアカフェ初企画の多職種ランチフォーラム。

職種の異なる4名の方をパネリストとしてお迎えし、丸山孝樹医療技術部長の進行で「仕事と家庭を両立するためにどんな工夫で乗り越えて来られたのか」をテーマに座談会形式でお話いただきました。以下、その内容の一部をご紹介します。

### 【小林 成美 医師】

18歳男と小1女の二児の母親。夫は呼吸器内科医。基本的には保育園、学童保育利用。両親とも帰宅が遅い時は親しいママ友にお迎えを依頼することも(こちらが預かることも。お互いに助け合う)。家庭と仕事は双方向で役立つ。患者との信頼関係構築の手法は子どもにも応用できる。家庭も仕事も完璧を求めず頑張り過ぎない。短い時間でも子供と密度の濃いコミュニケーションが出来れば良い子に育つと思う。



小林 成美 医師  
(循環器内科)



井上 順一朗  
理学療法士

### 【井上 純一朗 理学療法士】

小6女、小2男、年中男の三児の父親。妻は看護師。結婚当初、妻に任せきりの家事は、子供の誕生と共に積極的に関わるようになり、今ではほぼ半分ずつ分担している。職場の理解があるお陰で子供の病時にも対応することができ、また、忙しいからこそ「今が一番幸せ」と思っている。家庭円満の秘訣は、妻がご機嫌でいてくれること。常に傾聴を心掛け感謝の気持ちを忘れないようにしている。

### 【松本 久美子 薬剤師】

小1男、年中男の二児の母親。夫は会社員。夫婦で相互支援しつつ、家事・育児の分担を調整している。複数登録の病児保育も活用中。将来には不安もあるが、未知のことを心配しない、他人と比較しない。目の前のをひとつずつクリアすれば、自分なりのバランスややり方が見えてくる。信頼できる同僚や家族に些細なことでも話して、一人で抱え込まないことが大切。精一杯の毎日だが、振り返ると楽しかったと思える日々でありたい。



松本 久美子  
薬剤師



和田 純子  
看護師

### 【和田 純子 看護師】

小6女、小3女の二児の母親。夫は会社員。出産後家事・育児全般は自らが担ってきたが、今では完全平等分担制に。フルタイム復帰したが、病気がちな子供のために育児短時間勤務への変更によって柔軟な対応ができるようになった。ここまで続けて来られたのは、家庭状況をオープンにすることで、職場での理解が得られ協力して頂いたお陰と感謝している。思い悩む日は長くは続かない。「この時間は楽しかった」と思える日は来る。



## 令和2年度復帰予定者 看護師復帰前研修

日時 1/24(金) 1/30(木) 2/3(月) 10:00-12:00

会場 臨床基本技術トレーニングセンター、看護部会議室

令和2年度に職場復帰を予定している育児休業中の看護師を対象とした復帰前研修が3日間開催され、19名の方が参加されました。

採血などの実技演習と医療端末操作の2本立。ブランクがありながらもすぐに感覚を取り戻される姿に頼もしさを感じました。

また、研修参加に際し18名のお子さんが託児サービスを利用されました。初めて母親から離れるお子さんばかりで、パワー溢れる泣き声の大合唱。しかしプロのベビーシッターさんによって、いつの間にか笑顔で遊びに夢中に。また、久しぶりの同僚との再会で終了後はランチへと向かう姿も。2時間余りの研修会で母子ともにリフレッシュの時間となったようです。



### 【編集・発行】

神戸大学医学部附属病院 D&Nplus ブラッシュアップセンター

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 地域医療活性化センター1階 TEL: 078-382-5266 FAX: 078-382-5837

E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp HP: http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

## ～講演会のお知らせ～

みなと KOBE メディカルキャリアプロジェクト (旧神戸大学女性医師の会) 第5回 講演会を開催します。

日時: 5月30日(土) 14:00-17:00

会場: 神緑会館 多目的ホール

講師: 大林千穂先生 (奈良県立医科大学 病理診断学教授)

※詳細は決まり次第、ポスターでお知らせします。

## HPリニューアルしました!

この度、ブラッシュアップセンターホームページが生まれ変わりました。男女問わず、職種問わず、お役に立てる情報を発信してまいります。ぜひ、ご覧ください。



## ～マタニティ白衣等 無料レンタルのお知らせ～

妊娠中の女性医師にマタニティ白衣・スクラブ上下の無料貸出サービスを4月から開始します。白衣とスクラブ、上下セットでも単品でもご希望に合わせてご利用ください。詳しくは左記までお問合せください。